

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名 ：一般国道373号 <small>しとさかどうげ</small> 志戸坂峠道路 起終点 ：自：岡山県英田郡西粟倉村影石 <small>あいだ にしあわくらそんかげいし</small> 至：鳥取県八頭郡智頭町市瀬 <small>やす ちづちよいちのせ</small>	事業区分 ：一般国道 （二次改築）	事業主体 ：中国地方整備局 延長 ：17.9 km		
事業概要 ： 一般国道373号は、兵庫県赤穂市から鳥取県鳥取市に至る延長約70kmの主要幹線道路である。 志戸坂峠道路は、一般国道373号の岡山・鳥取県境に位置し、現道の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保を目的とした延長17.9kmの道路である。				
S52年度事業化		S52年度用地着手		
全体事業費：約900億円		事業進捗率：61%		
計画交通量：8,500台/日		供用済延長：9.6km		
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.1 (残事業) 1.9	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 260/1200億円 (事業費：231/1076億円) (維持管理費：29/124億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 498/1328億円 (走行時間短縮便益：422/1174億円) (走行費用減少便益：64/130億円) (交通事故減少便益：12/24億円)	基準年 ： 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの形成（鳥取と東京・京阪神方面を結ぶ高速バスの利便性の向上が期待できる） ・国土・地域ネットワークの構築（中国横断自動車道姫路鳥取線と並行する一般国道自動車専用道路を構成） <div style="text-align: right;">他17項目に該当</div>				
関係する地方公共団体等の意見 志戸坂峠道路は現道の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、鳥取市をはじめとする関係2市9町2村の首長等で構成される国道373号改修促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 車両のすれ違い困難な箇所が存在するとともに、冬期には降雪による通行障害が発生しており、交通安全の確保が急務となっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成9年度までに県境部の区間9.6kmを供用しており、現在、残る区間の事業を促進しているところである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在、全線に渡り工事を促進しており、早期供用を目指し事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等 扁平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト縮減を図っている。 その他、設計・施工の工夫などによりコスト縮減に努めている。				
対応方針 ：事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図 				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。